

新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言 思いやりと支えあいでコロナを乗り越えよう

長野県では、新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷から県民を守り、当たり前の日常を取り戻すため、「コロナは思いやりと支えあいで乗り越えよう」を展開しています。新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言」が出されました。飯山市ではこのキャンペーンに賛同し、引き続き差別をなくすために活動してまいります。

新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷のない社会、健康やかな暮らしと活気のある地域経済の実現に向け、家庭、職場・学校、地域が一丸となつて取り組んでいくため、このほど「新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言」が出されました。飯山市ではこのキャンペーンに賛同し、引き続き差別をなくすために活動してまいります。

新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言」に出されました。飯山市ではこのキャンペーンに賛同し、引き続き差別をなくすために活動してまいります。

族、医療従事者等への誹謗中傷や差別が後を絶ちません。こうした行為は、人として決して許されるものではありません。誹謗中傷を恐れるあまりに受診をためらうことは、更なる感染の拡大を引き起こしかねません。必要以上に自粛してしまうことは、地域経済の停滞をより深刻なものにします。



誹謗中傷・差別を受けた方又は不安をお持ちの方 悩まずご相談ください

長野県新型コロナウイルス被害相談窓口
(被害を受けた方のための相談電話)

☎ 026-235-7100

・受付時間：平日8時～17時15分

誹謗中傷等の噂、書込み情報等、人権に関する相談

○みんなの人権110番 ☎ 0570-003-110

・受付時間：8時30分～17時15分(平日)

○長野県人権啓発センター ☎ 026-274-3232

・受付時間：8時30分～17時(火曜～日曜)

長野県新型コロナウイルス感染症に関する相談

○お困りごと相談センター ☎ 026-235-7077

・受付時間：8時30分～17時15分(土日祝日含む)

弁護士への無料電話相談

○長野県弁護士会 新型コロナウイルス対策ダイヤル

☎ 026-232-2104 (受付時間：9時～17時)

※上記で予約後、2-3日以内に弁護士からの電話で相談

私たちが闘うべき相手は「ウイルス」です。

私たちは「県民を守る」「感染拡大を止める」「地域経済を守る」の3つの視点に立ち、「思いやり」と「支えあい」の心で一丸となって新型コロナウイルスを乗り越え、誹謗中傷や差別が後を絶ちません。こうした行為は、人として決して許されるものではありません。誹謗中傷を恐れるあまりに受診をためらうことは、更なる感染の拡大を引き起こしかねません。必要以上に自粛してしまうことは、地域経済の停滞をより深刻なものにします。

毎日、作り立ての温かい給食を提供

飯山市自慢の学校給食の取り組み

小学校は全校が自校給食

飯山市の学校教育の自慢の一つが給食です。小学校7校は自校給食、中学校2校は最新設備の給食センターで調理し、毎日合計約1500食の給食を提供しています。

長野県内小学校の平成30年度の自校給食の割合が約34%である中、飯山市は100%の小学校において、それぞれの校内で調理された給食が提供されています。自校給食では各小学校に担当栄養士が配属され(二部学校は兼務)、地域食材の利用や地域の食文化を取り入れた食育の実施、アレルギー食にも対応しながら日々温かい給食が提供されています。

取り組みの一部を紹介します

●飯山小学校

飯山小学校では、栄養士含め6人のスタッフで約3000食の給食を調理。食数が多く、安全に配慮も必要なためチームワークが大切です。この秋、長野県から学校給食に対して



飯山小の給食では、県から提供の食材で調理された「信州プレミアム牛肉の焼肉」が登場。

コロナ禍で消費が落ち込む地域食材の無償提供があり、「信州プレミアム牛肉」や「信州サーモン」などの高級食材が給食に登場しました。10月には焼肉、11月にはサーモンフライ、今月は牛丼がプレミアム食材です。子どもたちも「プレミアム牛肉最高！」と喜んでいました。このプレミアム食材の給食は、全校で提供されています。

●中学校

給食センターからは、二つの中学校に適温で給食が届くよう、時間差を考慮して調理し、保温食缶で配送するなど、様々な工夫がされています。また、地元産の食材が使

ランチレターで寄せられた感想

- ・ピーマンの苦みがお肉とチーズで無くなって、おいしかった!
- ・秋野菜チップスとても人気でした。
- ・豚汁がママの味でした。
- ・2学期はじめの給食がキムタクごはんて良かった。
- ・ごはんがいつもおいしいです。

われ、コロッケも春巻も手作りで、中学生も自校給食に劣らないおいしい給食を毎日味わっています。

センターと中学校の間では毎日ランチレターが往復します。センターから、その日の献立、食材や食文化の紹介などを給食とともに届け、生徒や先生から感想が返ってきます。これを参考にしながらより良い給食になるよう、日々改良が行われています。

これからも安全でおいしい給食を

栄養指導や食育、アレルギー対応、厳しい衛生管理が求められる学校給食。これからはスタッフが細心の注意を払いながら、愛情を込めて届ける学校給食が、子どもたちの体と心の成長を支えます。

傷のない社会、健康やかな暮らしと活気ある地域経済の実現に取り組んでいきます。

一、感染された方やそのご家族などに対する差別や誹謗中傷は許しません。子ども、従業員、地域の全ての人を差別や誹謗中傷から守ります。

一、医療従事者をはじめ、私たちの暮らしを支えるため頑張っている方々に心から感謝し、応援します。

一、家庭、職場・学校、地域

小中学校でのICT教育に活用を

マウスコンピューターがタブレットを寄贈

12月3日、飯山工場場でパソコン製造を行う㈱マウスコンピューターの松本一成飯山工場長が飯山市役所を訪れ、タブレット端末20台を寄贈いただきました。



同社飯山工場の松本工場長(写真右)から足立市長にタブレットが手渡されました

同社からは平成28年にも木島小学校に50台のタブレット端末を寄贈いただいたり、今回で2回目。足立市長は「飯山市のICT教育は、前回寄贈いただいたことをきっかけに始まった。更なるICT教育推進のために活用させていただきたい」と話しました。

やさしい子どもたち

人権学習シリーズ

いずみだいの保育園長 東理恵子

3歳未満児のクラスには小さい子どもさんが入園してきます。1歳になったばかりの子どもは、まだハイハイをしていたりヨチヨチ歩きをしていたりとても小さいです。そんな小さな子どもたちがクラスに入ってくると、お兄さんお姉さんの子どもたちはみんなその子を囲んでにこにこ見守ったり、そっと頭をなでてあげたりしています。泣いてしまったりすると近くにいって顔を見つめたり、やっぱり頭をなでてあげたりします。自分もたいして変わらないう年齢の1歳、2歳の子どもたちですが、そんなほほえましい姿を見せてくれます。きっと自分もそんな風にならなう大人やお兄さんお姉さんからやさしくしてもらったのでしょうね。

どんなに小さな子どもでも、自分より小さい子にはやさしくしようとする気持ちがあります。それだけでなく場合によっては自分より大きい